

2014年度5月定例会

レジリエンス協会の活動 社会チーム活動報告

[レジリエンス協会 社会チーム(レジリエンス研究会)]
三島和子(セコムIS研究所)
増田幸宏(芝浦工業大学)
榎本純夫(損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント)
新藤淳 (同上)

2013年度活動報告

●活動状況

2013年度は5回打合せを実施

第1回打合せ(5/ 8)

第4回打合せ(11/18)

第2回打合せ(8/28)

第5回打合せ(1/20)

第3回打合せ(10/11)

●活動概要

- ・当チームの問題意識については、11月定例会での三島さんの発表をご参考ください。
- ・現在は、「地域コミュニティを生物として捉えると、バイタルサイン(呼吸、脈拍、体温、血圧等)に当たるものがあるのではないか。」との仮説のもとバイタルサインを探しています。

2014年度活動予定

●活動目標

- 2013年度で一度中締めとする。
- 7月又は9月定例会を目途に中間報告としてまとめて皆さんに御報告する。
- 中間報告の内容を踏まえて、自然災害復興学会(災害情報学会と10月に連携して学会が開催される予定)あたりに「報告」として投稿することも検討する。
- 各種の報告と併せて研究会のメンバーの呼びかけを行なう。

メンバー募集中

意欲・問題意識のある方、レジリエンスな社会とは何かに興味のある方、作業の労をいとわない方、論文を書きたい方の参加大歓迎！

●目的

「レジリエンス」の独自定義を確立するためケーススタディ・文献調査による調査研究を行う

●研究会のルール

2ヶ月に1回程度の頻度で打合せを実施(宿題有)
議事進行係は持ち回り、メンバーの負担は均等に